

試験項目 微生物接触培養試験・資料調製(黄色ぶどう球菌)

試験法 抗菌加工製品—抗菌性試験方法・抗菌効果JIS Z2801:2000に準じ Staphylococcus aureus ATCC6538P(黄色ぶどう球菌)を前培養、1/500 ニュートリエントブロスにて分散希釈し試験菌液を調製した。この試験菌液 0.4mlを直径90mmの滅菌PSシャーレ中の50mm角検体に滴下、40mm ストマツカ—フィルムを密着させてふたをかぶせ、ステンレストレーに置き、ポリ塩化ビニリデン製ラップフィルムで全体を覆った。そして10Wブラックライトを照射しながら、25℃で24時間経過後、菌液窃取培養面にSDDL9.6 mlを滴下・洗い出しを行い、内1mlを採取、10倍希釈系列を作成し、生菌数を標準寒天混釈法にて測定した。

試験結果:生菌数(検出限界値10cfu)

	初発(接触)菌数	24時間後
ハンノウコート塗布	$5.0 \times 10^8$ cfu	0 cfu(検出せず)
ブランク	$5.0 \times 10^8$ cfu	$4.1 \times 10^6$ cfu

